

**製品名: ErbB-3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21268**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:148kD;Observed MW:185kD

**抗原情報**

遺伝子名	ERBB3
別名	ERBB3;HER3;Receptor tyrosine-protein kinase erbB-3;Proto-oncogene-like protein c-ErbB-3;Tyrosine kinase-type cell surface receptor HER3
遺伝子 ID	2065.0
SwissProt ID	P21860
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

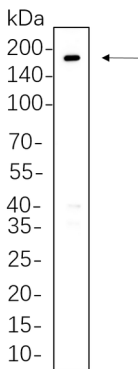
細胞局在: 膜。この遺伝子は、上皮成長因子受容体 (EGFR) ファミリーの受容体チロシンキナーゼのメンバーをコードしています。

この膜結合タンパク質はニューレグリン結合ドメインを有しますが、活性キナーゼドメインは有しません。そのため、このリガンドに結合することはできますが、タンパク質リン酸化を介して細胞内にシグナルを伝達することはできません。しかし、キナーゼ活性を持つ他の EGF 受容体ファミリーのメンバーとヘテロ二量体を形成します。ヘテロ二量体化は、細胞増殖または分化につながる経路の活性化につながります。この遺伝子の増幅および / またはタンパク質の過剰発現は、前立腺がん、膀胱がん、乳がんなど、多くのがんにおいて報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。1つのアイソフォームは膜間領域を欠き、細胞外に分泌されます。このアイソフォームは、m の活性を調節する働きをします。

## 研究分野

-

## 画像データ



SK-BR-3 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを ErbB-3 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。